令和７年度　第２回常任理事会議事録

日　時：令和 7 年 11 月 13 日（木）19:00～20:40　　Zoom オンライン
出席者：秋峯会長、山口副会長、原副会長、米沢理事長、池上副理事長、松本競技委員長、山本審判委員長、
　　濱田強化委員長、寺田ビーチ委員長、坂中総務委員長、宮田委員長、松前副委員長、荒木副委員長
出　席：13 名
陪　席：甲斐(西日本工業大学)、園井(長崎国際大学)、吉原(鹿屋体育大学)
【議長】米沢理事長　【書記】宮田委員長

秋峯会長の挨拶の後、議事に入った。

【報告事項】
競技委員会(松本競技委員長)
・秋季男女 1 部リーグの結果報告、秋季男女チャレンジマッチの結果報告があった。

強化委員会(濱田強化委員長)
・男子学連選抜対抗戦の結果報告があった。
・女子セレクションキャンプの報告があった。

審判委員会(山本審判委員長)
・8 月 23 日に福岡大学で行われた審判 C 級認定講習会の報告があった。

ビーチ委員会(寺田ビーチ委員長)
・7 月 19 日、20 日に開催された九州大学ビーチバレーボール男女選手権大会の結果報告があった。
・JVA 第 37 回全日本ビーチバレーボール大学選手権大会で女子・長崎国際大学の前田・谷口ペアがベスト 4 に入賞し、来年度の女子出場枠が増加されることが報告された。

総務委員会(坂中総務委員長)
・今年度の学連登録チーム数は男子 38 チーム、女子 35 チーム、計 73 チームであることが報告された。

代表委員会(宮田委員長)
・特になし

【審議事項】
競技委員会(松本競技委員長)
・男子チャレンジマッチの新方式について確認が行われた。JVA 規定では 3 セットマッチは 1 日に 3 試合まで、5 セットマッチは 1 日 2 試合までであるが、現行の方式は最終日に 3 セットマッチ 2 試合+入れ替え戦 5 セットマッチ 1 試合となっており、規定の試合数を超えている状況である。木曜日から開催することで問題が解消できるため、新方式の提案がなされ審議された。
　→木曜日の審判員派遣は難しいだろう。(山本審判委員長)
　→西日本インカレのように、C 級を持っている学生が主審・副審を行う方法もあるのではないか。

また、チャレンジマッチ開幕日に審判講習会を行ってはどうか。(秋峯会長)
⇒木曜開催にすることのメリット、デメリット、試合数、会場使用料、審判員の派遣、学生のC級取得促進、開催県の負担等を今後検討し、令和9年度から採用することを目標に、1月の理事会で再提案することで承認された。

・来年度の連盟事業計画の確認が行われた。

強化委員会(濱田強化委員長)
・12月に開催される女子学連選抜対抗戦のスタッフ及び選手、開催要項、役員のタイムスケジュールについて説明があり承認された。

総務委員会(坂中総務委員長)
・沖縄県学連よりチャレンジマッチ沖縄開催に関する要望書が提出されたことについて説明があった。女子の参加チーム数が少ない場合、予算の関係で開催が難しいという内容であった。
→令和9年度から大会参加費を増額すること等を今後検討し、1月の理事会で再提案することで承認された。

・理事会の日程について、1月24日(土)午後～Zoomにて開催されることで承認された。

審判委員会(山本審判委員長)
・特になし

ビーチ委員会(寺田ビーチ委員長)
・来年度日程について確認があった。
→開催場所が未定の箇所は、1月の理事会時に提示する。

代表委員会(宮田委員長)
・男子1部リーグのYouTube配信について、Wi-Fiがない会場があり配信が途切れるケースが多々あった。九州学連もしくは男子1部としてWi-Fiの購入(またはレンタル)を検討してほしい旨説明があった。
→基本的には男子1部でレンタルすることとし、値段が高額であれば九州学連一般会計で補填する対応を取るかもしれない。レンタル代がいくら掛かるなど判断材料を揃えて総務に報告し、引き続き検討する。

その他
・原副会長より、男子1部リーグであったソックスによる没収セット発生の件について、学連としてルールの再確認と、明確な基準を設定するべきではという意見があった。
→基準については、ソックスはユニフォームの一部であるため、ワンポイントの統一および色と長さの統一がルールである。(松本競技委員長・山本審判委員長)
→全日本学連の規定に沿って競技委員会と審判委員会で確認を行い、1月の理事会で提案することとなった。

山口副会長、原副会長の挨拶をもって閉会した。

文責　坂中美郷